

神戸学生記者クラブ

神戸の大学生が企画・取材をして、市の仕事を学生目線で発信する企画です。

みんなにやさしいユニバーサルデザイン

市内にはたくさんの方が住んでいるけど、どんな社会になったら、みんなが暮らしやすくなるのでしょうか。ユニバーサルデザインについて取材しました。

今月の取材チーム



村上 亜実さん 中内 麻起子さん
島田 真耶さん 家正 葉月さん
神戸松蔭女子学院大学 +Sガールズの皆さん

UDはみんなが主役!

スロープがあれば、車いすを利用する人だけでなく、ベビーカーを押す人、スーツケースを持つ人も、簡単に上り下りができます。



バリアフリーとの違いは?

バリアフリーは、後から特定の誰かのための取り組みを行うことを、UDは、最初からみんなにやさしいデザインを考案することをいいます。

スロープを例にいうと、元からある階段にスロープを付けるのがバリアフリー、階段を作る時点でスロープを付けているのがUDです。

UDの考え方で作られたもの

- 電気ポット**：引っかけなくても、すべり防止安全な、マグネット付きコンタクト
- シャンプー**：触ってリンスとの違いが分かるように刻みを付けた容器
- ペットボトル**：中央部にくぼみをつけて持ちやすくした容器

みんなが暮らしやすい社会へ

ユニバーサルデザイン(以下UD)には「みんなにやさしい」という意味があります。年齢、性別、身体状況など、皆さんが持っている個性や違いに関係なく、誰もが利用しやすく、暮らしやすい社会を目指して、まちや建物、もの、サービスなどを提供していくこととする考え方です。

1 ユニバーサルデザインって何?



周りの人のサポートが大事だね!



時間も労力も人倍!!

市役所から三宮駅までの時間は、徒歩では約7分ですが、車いすでは約15分かかります。途中、小さな段差でも衝撃があったり、狭いエレベーターの中では周りの人に気を使ったりもしました。また、坂道は負担が大きく、腕の力が必要で、一人で移動は大変だと思いました。

身近なところでUD発見!

街なかにあるUDを三宮周辺で探してみました。駅の券売機では、車いすの人が使いやすいように機械の下に膝が入るスペースがありました。また、階段や通路には、目的地を示す案内表示のほか、身長差を考慮して手すりを2段付けているところもありました。

実際に、車いすに乗って移動してみると、徒歩では階段ですぐに行けるころでも、エレベーターに乗るために、遠回りしたり、見つけられなかったりしました。

2 ユニバーサルデザインを見つけよう!

▲2段付いた手すり ▲足元スペース




取材してみてもいいかな?

車いすの体験では、エレベーターのボタンを押して待っていてくれた人、道を譲ってくれた人など、何げない優しさを感じることができました。UDで大切なことは、意識を持つことです。私たちもいろいろな人の立場になって考え、思いやりの気持ちを持って行動していきたいと思えました。



◎ 開発：計画調整課
(☎) 322・6243、(☎) 322・6039
◎ 建築：まちのデザイン課
(☎) 322・5629、(☎) 322・6096

UDを学ぼう!

UDでは、身の回りにおける不便なことに気付くのが大切なんです。しあわせの村では、点字などが付いた地図に触れたり、車いすを体験したりして、UDがどんなものか、気付きを感じることもできる「UDスポットツアー」を開催しています。

詳しくは「しあわせの村」検索

◎ 市民福祉振興協会 (☎) 743・8193、(☎) 743・8180



UDは意識づくりから

まちや製品や「目に見えるもの」だけでなく、みんなにやさしい心を持つことが大切です。

市民福祉振興協会 佃 孝司

3 ユニバーサルデザインをもっと知ろう!

